

津波・震災被害からの復興支援

—何ができるか、どうなるか—

(株)三菱地所設計

深澤義和

復興へ

？

- ・復旧より復興
- ・高台へ住宅移転
- ・建築家が復興計画の専門家

復興、まちづくりの専門家とは？

(工学部)

建築学・土木学・都市工学

(農学部)

農業土木・農村計画・・・

(経済学部)

(法学部)

(医学部)

・

・

住民

行政

事業家

ボランティア

1. 亶理町の概要①

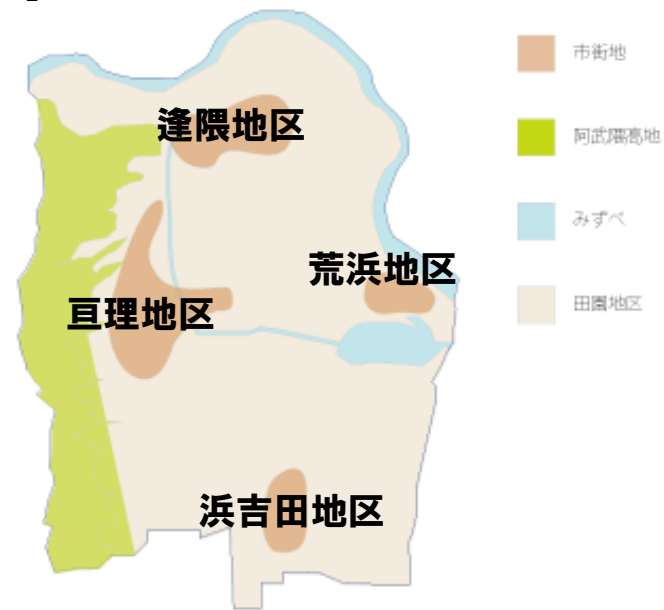
■ 亶理町は仙台市から南に約26kmの距離に位置



- ・ 西：阿武隈高地
- ・ 東：太平洋（仙台湾海浜圏環境保全地域）
- ・ 北：阿武隈川
- ・ 中心部：肥沃な平野

1. 亶理町の概要②

■生産高では第3次産業が主だが、
土地利用面では農地が47.5%を占める



- 人口は約3.4万人
- 温暖な気候
- イチゴの生産は出荷量が東北地方第1位
- 仙台のベッドタウン

2. 被害の状況①

■東日本大震災による亘理町の被害状況



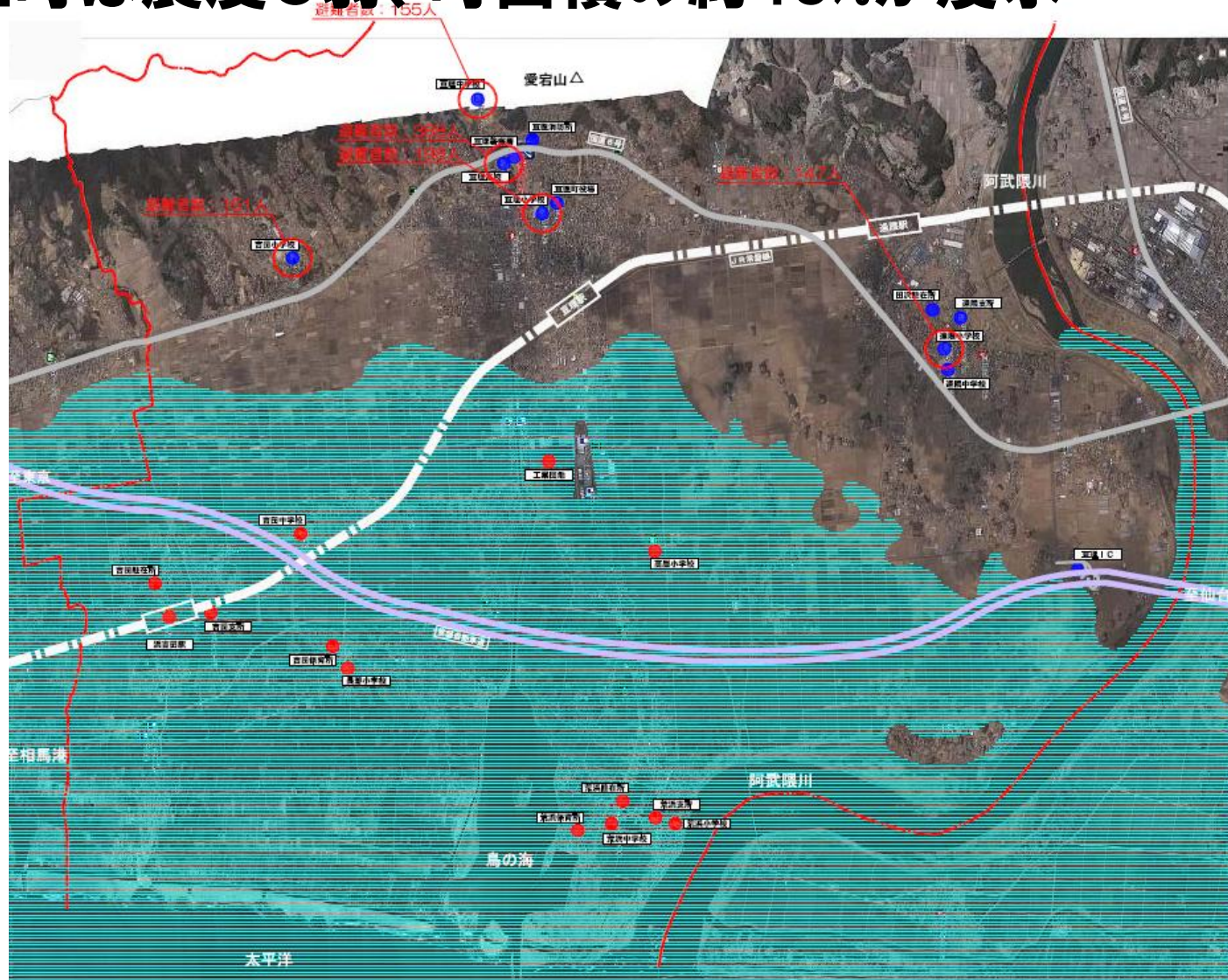
- 死者数:255人
- 行方不明者数:8人
- 避難者数:120人
- 仮設住宅:1,062戸
(6/20時点)
- 地震直後の避難者数:
6,104人

被害総額 約3,353億円

出典:亘理町震災復興会議資料
2011年6月22日

2. 被害の状況②

■巨理町は震度6弱、町面積の約48%が浸水



2. 被害の状況③（荒浜地区）



2. 被害の状況④（阿武隈川沿い）



2. 被害の状況⑤（鳥の海周辺）



■ 鳥の海地区（被災前の住宅密度重ね図）

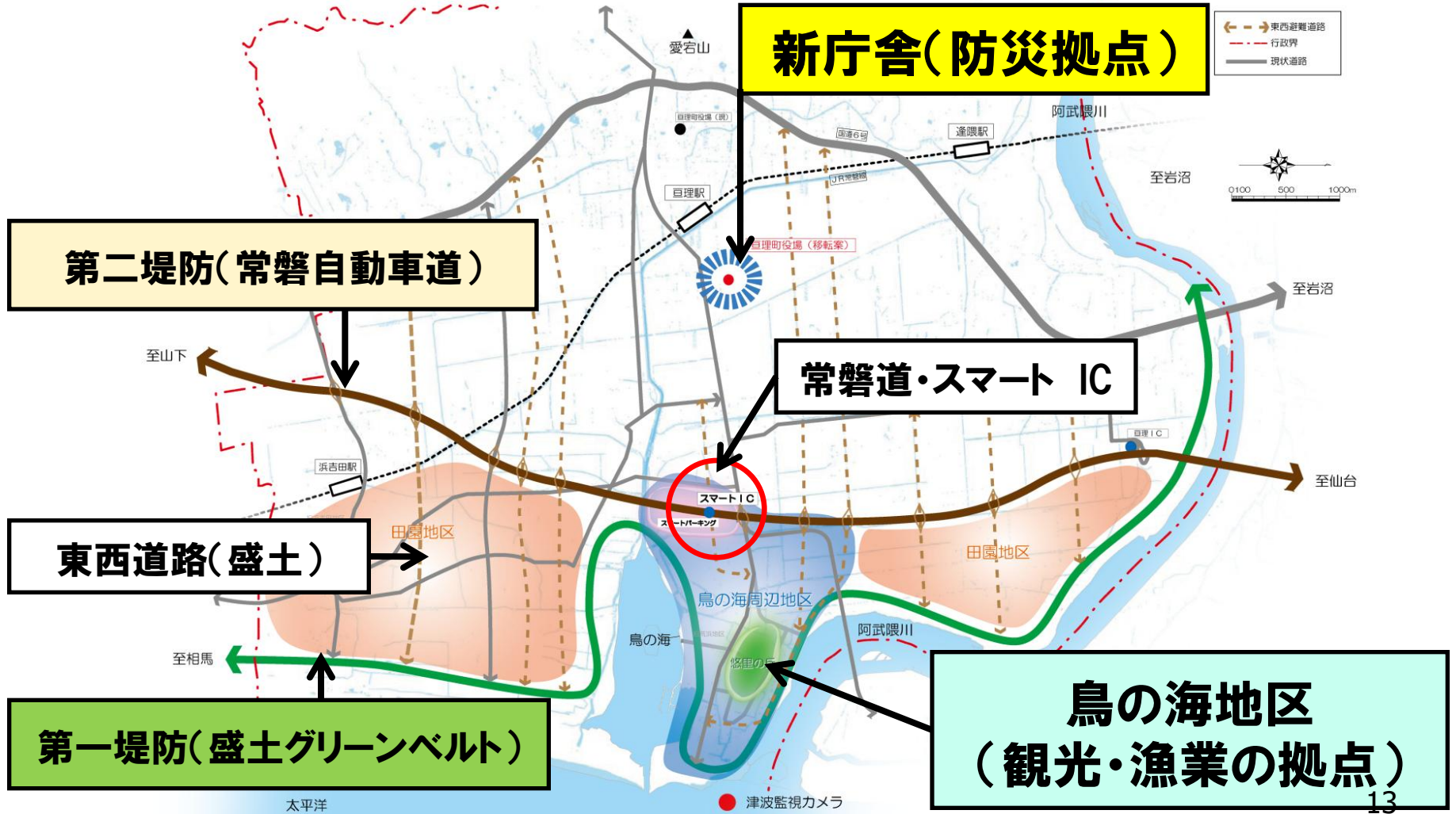


復興のコンセプト

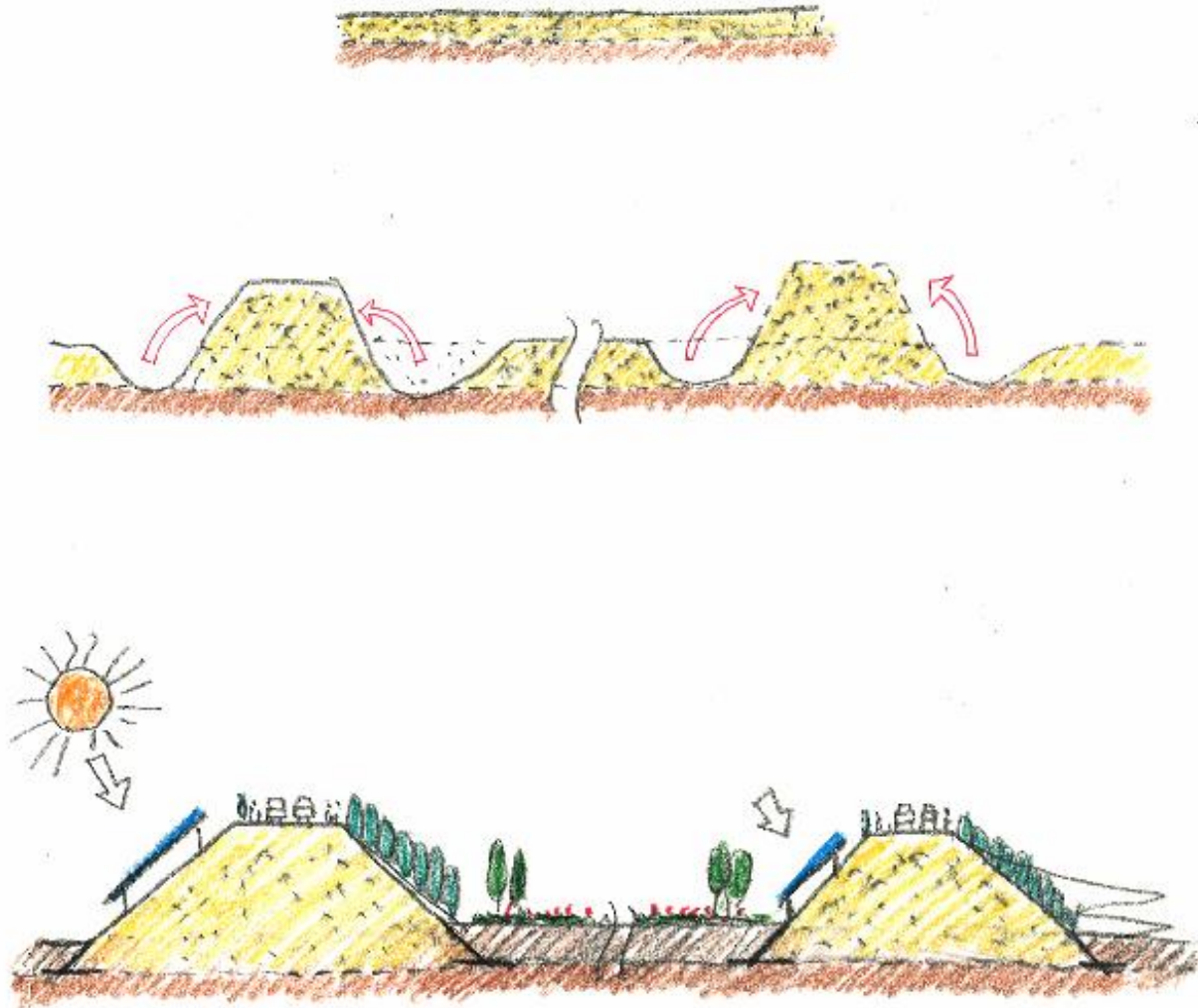
- ・津波に対して安全に
- ・農業・漁業の再生
- ・観光の振興
- ・工業系土地利用の誘導
- ・再生エネルギーの導入
- ・コミュニティ形成
- ・復興のイベント化

3. 復興の考え方

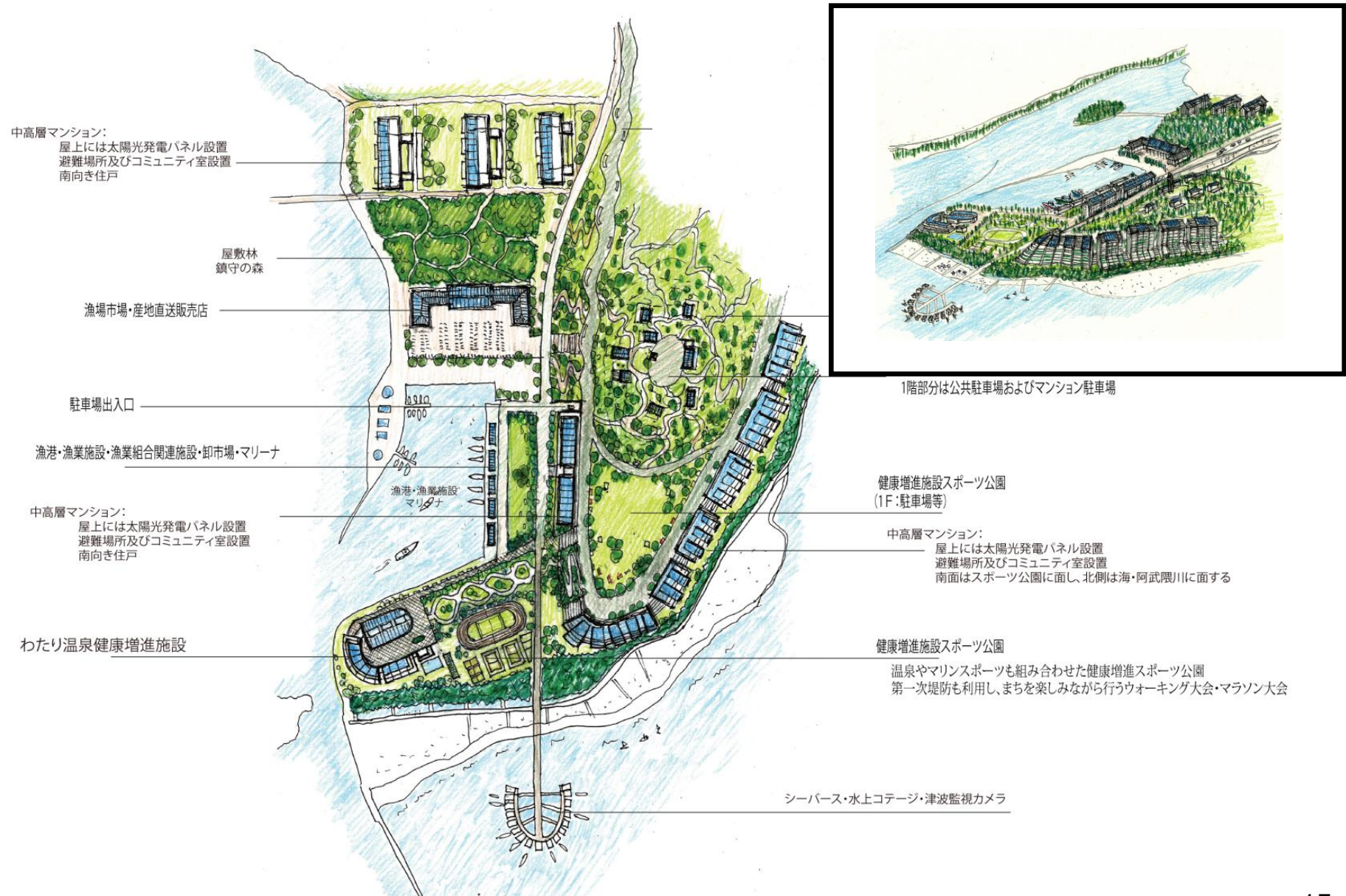
■第一堤防(盛土グリーンベルト)、第二堤防(常磐自動車道)による津波の減勢



4. 復興のイメージ①（東西避難道路）



4. 復興のイメージ②（鳥の海地区案）



中高層マンション：
屋上には太陽光発電パネル設置
避難場所及びコミュニティ室設置
南向き住戸

屋敷林
鎮守の森

漁場市場・産地直送販売店

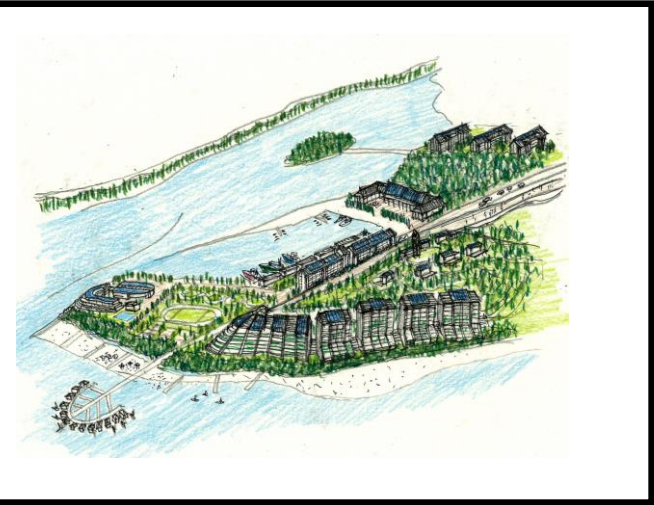
駐車場出入口

漁港・漁業施設・漁業組合関連施設・卸市場・マリーナ

漁港・漁業施設
マリーナ

中高層マンション：
屋上には太陽光発電パネル設置
避難場所及びコミュニティ室設置
南向き住戸

わたり温泉健康増進施設



1階部分は公共駐車場およびマンション駐車場

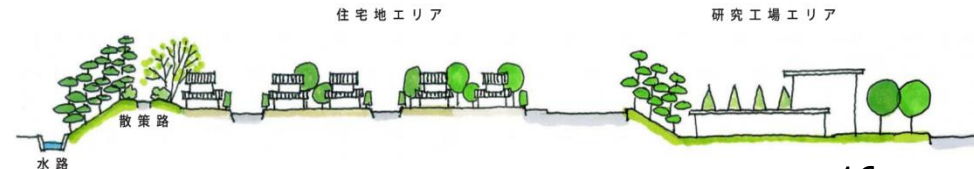
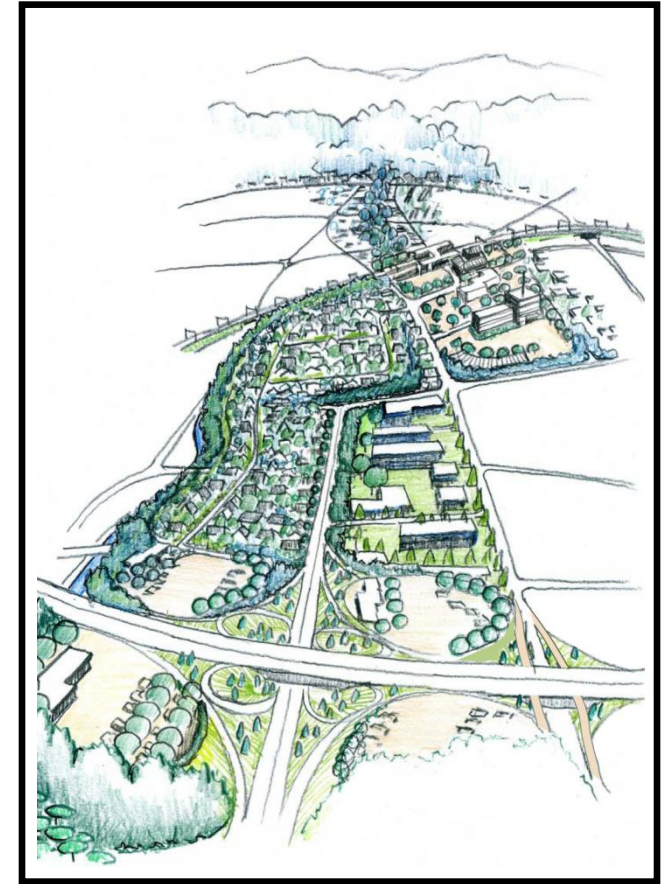
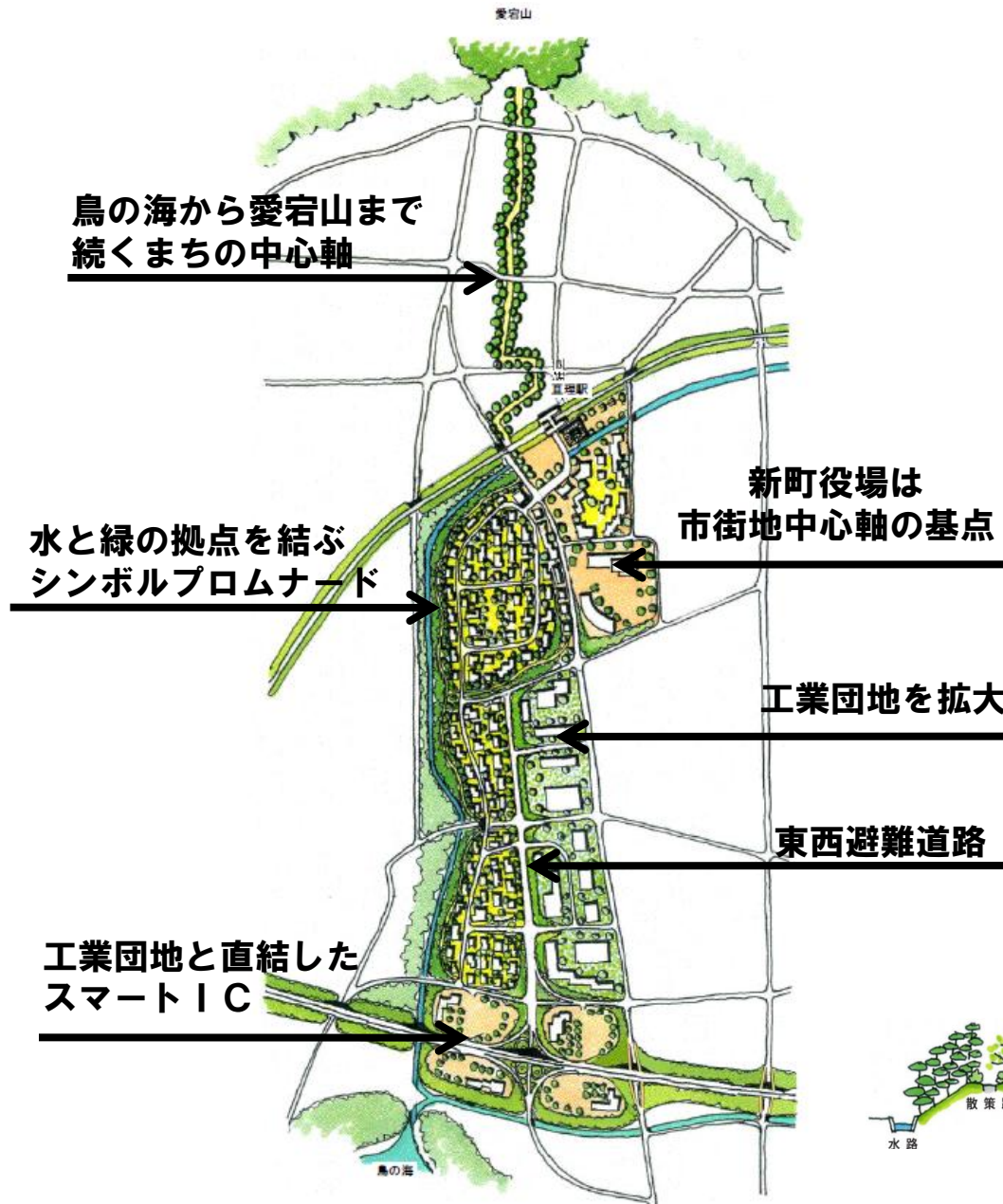
健康増進施設スポーツ公園
(1F:駐車場等)

中高層マンション：
屋上には太陽光発電パネル設置
避難場所及びコミュニティ室設置
南面はスポーツ公園に面し、北側は海・阿武隈川に面する

健康増進施設スポーツ公園
温泉やマリンスポーツも組み合わせた健康増進スポーツ公園
第一次堤防も利用し、まちを楽しみながら行うウォーキング大会・マラソン大会

シーバース・水上コテージ・津波監視カメラ

4. 復興のイメージ③ (まちの中心軸案)



それだけか？

着実に発展してきた過去の継承
画期的な計画は実現できるか

江戸時代であつたら

関東大震災の復興

中国四川の震災復興（対口（ペアリング））

自由社会・資本主義社会（自己責任・競争）

における復興（福祉）？

復興へのさまざまな動き？

- ・国の復興構想会議
- ・宮城県の復興構想会議
- ・近隣の動き
- ・コンサルタント 補正予算
- ・PFI, PPP
- ・復興特区

これからの課題と必要なもの

資金
資材
労力
合意形成



事業家・行政(投資・マネージメント)

エンジニアリング(安さ、確実性)

住民(意欲・行動)

着実に進み出した地元！

- ・仮設住宅
- ・がれきの処理
- ・農業・漁業の再開
- ・修繕して住み続ける
- ・復興推進課
- ・町の復興構想会議

これからの復興を！

ご静聴ありがとうございました。